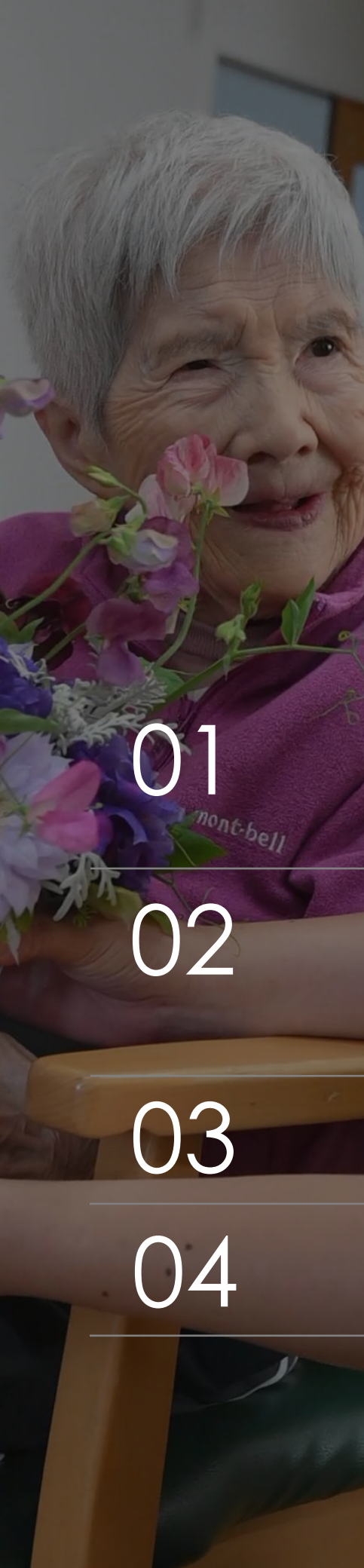


A photograph of a young woman with short brown hair, wearing a dark blue jacket, smiling and supporting an elderly woman. The elderly woman is seated in a wheelchair with yellow handrails, wearing a grey patterned sweater and a black puffer vest. She has a slightly pouting expression. They are indoors, with a large green plant in the background and bright light coming from a window.

社会福祉法人藤花会
令和6年度事業報告



01

02

03

04

目次

事業内容

- 1 特別養護老人ホーム
- 2 小規模多機能ホーム
- 3 居宅介護支援事業所

重点施策

- 1 人材確保と育成
- 2 地域との連携強化
- 3 サービスの質向上と利用者満足度向上
- 4 施設運営の効率化

数値

稼働率・契約率・職員離職者数

総括

01 事業内容

1 特別養護老人ホーム

■ご家族様カンファレンス 居室面会再開

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、3年ぶりにご家族様を含めたカンファレンスを再開いたしました。ご家族様からは「ケアの内容や施設での暮らし方をわかりやすく説明してくれて安心です」とご好評をいただいています。

また、居室での面会も再開しました。感染対策として事前予約をお願いするなどの対応を継続しつつ、生活空間にご家族様をお迎えできるようになりました。ご家族様とのふれあいの時間が、入居者様の安心感や生活の質の向上につながっていると感じています。



■定期行事

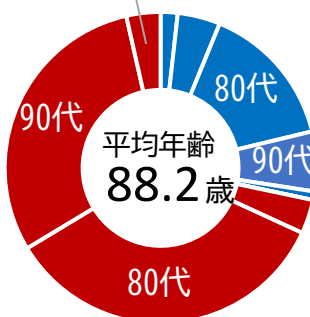
移動スーパーとくし丸 毎週1回、施設での買い物機会をご提供しました。好きなお菓子やフルーツを購入されたり、中にはお寿司を購入し夕食に替えて召し上がる方もおられます。

訪問理美容 毎月、カット、顔そり、カット等、整容の機会をご提供しました。

移動図書 瀬戸内市立図書館および岡山市立図書館より、毎月1回、図書やCDをお借りしています。



最高齢101歳



2 小規模多機能ホーム



■圧倒的な訪問回数

当法人が運営する小規模多機能ホーム2事業所では、地域のニーズに応じて「訪問サービス」に力を入れています。施設に通うよりも、自宅での支援を望まれる方が多い地域性を反映した対応です。訪問回数は、1事業所あたり月平均415回と444回にのぼり、ご利用者様のご自宅での生活を身近で支えています。

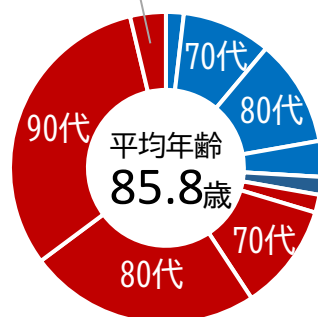
もちろん、「通い」や「泊り」のサービスも組み合わせ、一人ひとりに合った柔軟な支援を行っています。

■運営推進会議

地域密着型のため、利用できるのは事業所のある地区の方に限られます。その分、地域のニーズや課題が見えやすく、対応も身近な社会資源で行えます。

運営推進会議では、瀬戸内市社会福祉協議会や町内会、家族会の代表者にもご参加いただき、地域課題やその対応、小規模の取り組みについて意見交換しています。私たちの活動を知っていただくことで、地域の困りごとの解決につながればと考えています。

最高齢104歳



3 居宅介護支援事業所



■在宅生活の継続を支援する プランニング

ご利用様が住み慣れた自宅で、できるだけ長く安心して暮らしていただけるよう、ケアマネジャーが一人ひとりに合った支援計画(ケアプラン)を作成しています。

身体の状態や生活環境、家族の状況をふまえながら、訪問介護、デイサービス、福祉用具の活用など、多様なサービスを組み合わせて生活全体を支援しています。

また、地域の社会資源を幅広くご紹介しつつ、法人内で提供している小規模多機能ホームやショートステイなども選択肢としてご提案しています。これにより、利用者支援とともに、法人内の各事業所の安定した運営にもつながっています。

ケアマネジャーは1名体制ですが、限られた体制の中でも丁寧な支援を心がけています。

■利用者と家族のニーズ

ケアプランを作成する際には、ご利用者様本人の希望や生活の目標はもちろんのこと、支えるご家族様の思いや状況にも配慮しています。

たとえば、ご家族が仕事を続けながら安心して介護できるように、日中の支援や一時的な宿泊サービスなどを活用することで、負担の軽減を図ります。

地域の限られた資源のなかで、公平性を意識しながらも、法人内の小規模多機能やショートステイといった柔軟に使えるサービスとも連携し、実際の生活に即した支援につなげています。

利用者と家族双方の「その人らしい暮らし」を支えることを大切にしながら、日々丁寧に対応を行っています。

1 人材確保と育成



■職員採用

合同就職説明会、実習受け入れ、職場体験受入れ、ハローワークや自社HPへの求人掲載、職員からの紹介等、採用活動を行いました。

令和6年度中に、介護職員14名、他職種20名の採用が叶いました。



■実習・インターンシップ生指導

介護福祉士、実務者講習、社会福祉士、社会福祉主事の実習生を、44名受け入れました。

あわせて、インターンシップ生として、高校生、大学生、社会人等11名を受け入れました。



■研修機会

法定研修であるBCP（業務継続計画）や虐待防止、感染症対応、車両運転講習のほか、接遇やポジショニング、オムツの適切な使用方法に関する実技研修、近隣施設の生活相談員との情報交換会なども実施しました。

研修は集合型に加え、オンラインによる動画視聴も取り入れ、職員が自分のペースで学べる環境を整えました。

また、新卒の介護職員にはプリセプター（指導役）を配置し、日々の業務を通じて実践的に学べる体制をとりました。





■子ども食堂の開催

せとうち拠点では「せとうち食堂」を年12回、せとうちの郷拠点では「藤花ちゃん食堂」を年9回開催し、地域の子どもの居場所づくりと交流の場を提供しました。地域企業や職員からの寄付による食材で運営し、出張開催やボランティアとの連携も進め、地域とともに育む活動を展開しました。

■学校への福祉出前講座

藤花会は福祉教育に注力し、令和6年度は年間20回の出前授業を実施。邑久高校の探究学習「セトリー」にも協力し、授業に職員が参加しました。高校生が考えたレクリエーションを施設で披露する機会もあり、学びと世代間交流の場となりました。

■子ども園との交流

近隣のめぐみこども園、ちとせこども園と交流を行い、園児がさつまいもの苗を植えたり、成長の様子を見に来るなどの関わりがありました。クリスマスには園児たちが手作りのゆび編みマフラーを用意し、利用者様へプレゼントしてくれるなど、心温まる世代間交流が実現しました。

■サロンへの講師派遣

地域サロンに職員を派遣し、令和6年度は3回の講師派遣を実施しました。機能訓練指導員が運動を指導し、ケアマネジャーが介護保険の使い方などを説明。住民の健康維持や制度理解を支援し、顔の見える関係づくりを通じて地域福祉に貢献しました。



■介護・支援の質向上

利用者一人ひとりの状態や希望に応じた個別ケアの充実を図り、定期的なケアプランの見直しを行っています。加えて、介護職・看護師・リハビリ職など多職種が連携し、カンファレンス等で情報を共有することで、チーム全体で質の高い支援の提供に取り組んでいます。



■アンケート実施

ご家族様を対象に、接遇や施設内の整理整頓、費用やケアプランの説明のわかりやすさ、健康管理の適切さなどに関するアンケートを実施しました。あわせてご要望も伺いましたが、「不満」の回答はなく、今年度は具体的な改善事項はありませんでした。



■レクリエーション

ご利用者様に施設での生活をより楽しんでいただくため、レクリエーション活動を実施しました。この取り組みは、楽しさの提供だけでなく、運動機会の創出や認知機能の維持・向上、他者との交流促進など、多面的な効果を目的としています。日々の暮らしに彩りと活力を加える大切な時間となりました。



■外出支援

「コーヒーを飲みに喫茶店に行きたい」「自宅の様子を見に戻りたい」「季節の花が咲いたのでお花見にお連れしたい」等、ご利用者様の希望に沿ったり、時にはサプライズでの外出を行いました。

稼働率・契約率・職員離職者数

■特別養護老人ホーム

せとうち（定員100名）	稼働	89.4名／月
	待機者計	88名

せとうちの郷（定員29名）	稼働	27.8名／月
	待機者計	51名

■小規模多機能ホーム

せとうち（定員25名）	稼働	22.3名／月
-------------	----	---------

せとうちの郷（定員29名）	稼働	25.3名／月
---------------	----	---------

■居宅介護支援事業所

せとうち	契約者	36.4名／月
------	-----	---------

■福祉有償運送

せとうち	契約者	77件
	運行件数	194件

■職員離職者数

正社員	15名
パート	19名（任期満了含む）

令和6年度も、多くの皆さまのご支援とご協力のもと、福祉事業を無事に運営することができました。心より感謝申し上げます。

本年度は、利用者の皆さまに安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいりました。
一方で、物価の高騰など経営環境の変化にも直面する年でもありました。

来年度は、収入の安定を図りつつ、業務改善を進め、経営の安定化に努めてまいります。

引き続き、地域福祉の発展に尽力してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

理事長 藤田 琢二
業務執行理事 正富 剛

本報告書をご覧いただきありがとうございます。ご意見・ご質問等ございましたら下記までお問い合わせください。

社会福祉法人藤花会 ☎701-4244 瀬戸内市邑久町福中1180番地
TEL 0869-22-2006
EMAIL tohkakai@leaf.ocn.ne.jp



「藤花会」でcheck!

